

飛島村立飛島学園で防災講座を行いました

令和6年9月10日（火）、飛島村立飛島学園で9年生41名に防災講座を行いました。今年は伊勢湾台風から65年にあたります。飛島村は伊勢湾台風で甚大な被害をうけており、伊勢湾台風殉難之碑が建てられています。当日学校は、「伊勢湾台風を語り継ぐ会」の日で、各学年様々な体験が行われていました。

講座では、伊勢湾台風について学習した後、VRによる浸水疑似体験やマイタイムラインの作成を行いました。マイタイムラインの作成にあたりハザードマップを確認した際には、予想以上に自宅の想定浸水深が深く浸水継続時間が長いことを知り、驚いた様子でした。また、VR体験後にはどの避難行動を選択してどのような結末になったのか、なにが正解なのかを友人同士話し合っていました。

生徒からは、「高潮に気をつけなければいけないと分かったので、マイタイムラインをしっかりと活用したいです。」「いつくるか分かる水害だからこそ、しっかり備えて自分と周りの人の命を守ることが大事だと思いました。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

